

中標津町コミュニティ・スクール ～地域学校協働本部との連携～

令和3年9月 中標津町教育委員会

『1日防災学校』～CS委員や地域の方の協力を得て実施しました～

【1日防災学校とは】

学校の授業の中に防災の要素を取り入れ、児童生徒の皆さんが防災知識を学び、災害時の「生きる力」を育む取組です。

【期待される効果】

「生きる力」「想像力」を子どもたちに育むことを目指しています。

【具体的には】

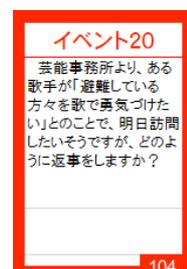
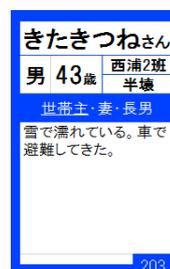
- ・学校や地域における防災教育を充実することによって、一人一人が自然災害を正しく理解し、防災・減災行動について自ら考え、判断できる能力（生きる力）を育成します。
- ・自然災害に対する行動は、地震、台風などの災害種別、地域、地形、人口などによって異なることから、どのような被害になるのだろうと考える「想像力」、想定される災害イメージに対して、具体的な対策を考える「想像力」を身につけます。
- ・学校、地域、行政が連携・協力することで、地域全体の防災力の向上を図ります。

中標津町では令和元年度から毎年1校を指定し、「1日防災学校」を実施しています。今年度は、9月16日に中標津中学校で行われました。

内容は、「シェイクアウト訓練と防災クイズ（全学年）」「段ボールベッド・手作り防災グッズ（1年）」「レスキューキッチンを利用した調理実習（2年）」「避難所運営ゲーム（3年）」を予定していました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言のため、感染症対策を徹底した上で、全学年「避難所運営ゲーム」を通して防災について考える1日としました。

【避難所運営ゲームとは…】

- ・北海道版避難所運営ゲームを「Do HUG」と言います。HUGとは、Hinanzyo(避難所)、Unei(運営)、Game(ゲーム)の頭文字をとったもので、英語で「抱きしめる」という意味も含んでいます。避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名づけられたものです。Doは北海道の道(Do)とやってみよう(Do)という意味を持っています。
- ・避難者の情報(年齢・性別・家族構成・持病など)が書かれたカードを、避難所となる体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。
- ・効果として…
 - ①避難所での生活を具体的にイメージすることができます。
 - ②避難所で何ができるかを考える力を養います。
 - ③思いやりのある優しい心が育ちます。



当日の様子

当日は、①避難所運営における様々な対応など、地域住民に協力できることを考える。②自らの備えについて考えるとともに、対応の意見を生徒間で出し合うことを通して他者を尊重する意識をもつ。というねらいのもと、学年ごとに体育館で行いました。また、地域との連携という観点からCS委員をはじめ、4名の地域の方に協力していただきました。

生徒は、「続々と避難してくる避難者を体育館などに振り分け、避難所を適切に運営していかなければならない立場」として、グループ内で積極的に自分の意見を出し合い、素早く適切に対応していました。

【生徒の「振り返り」から】

- 病気の人にどう対処するかわからず、よくない対処をしてしまったり、一人一人をどこに配置するかしっかり考えたり、自分の身も守らなければならない、周りの人にも正しい処置をしないといけないのが大変だった。
- 災害が起こった時の避難所を運営している人たちはすごいな、と思った。命がかかっているから適当な判断ができないだろうし、責任が重いなと思った。
- 最初の方に決めたことが、後になって困ることになったりして、後のことを考えることが大切だとも思った。
- 災害や防災、避難所などに興味を持ったし、実際ならどうなるのか、と考えられるいい機会になった。

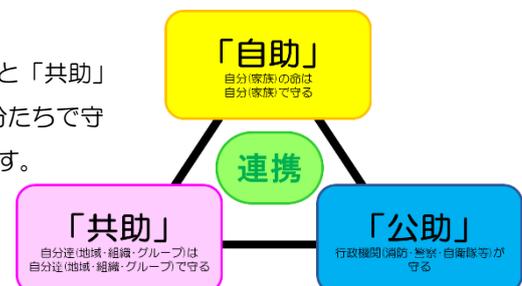


「自助」「共助」「公助」

災害はいつ起こるかわかりません。災害での被害を最小限に抑えるためには、災害が起こってなくても、日常的に災害へ備えることが重要です。災害への備えを考えると、「自助」「共助」「公助」の3つにわけられます。

- 「自助」とは、自分自身や家族の命と財産を守るために、自分の命は自分で守る、との考えのもと、災害に対する備えや災害時の対応を日常的に行っていくことです。
- 「共助」とは、近所や地域の方々と助け合うということです。また、災害時に円滑に助け合いができるように、日常から地域での助け合いに備えることです。
- 「公助」とは、役場や消防、警察、自衛隊などによる公的な支援のことです。災害時には、人命救助や復旧・復興を担っていきます。

「自助」「共助」「公助」のうち、私たち自身にできるのは「自助」と「共助」です。一人一人が「自分の身は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えを持ち、日ごろから災害に備えておくことが重要です。



【問い合わせ先】 中標津町教育委員会学校教育課・指導室

住所：中標津町丸山2丁目2番地

電話：0153-73-3111 / FAX：0153-72-7757